

令和2年度 第2回白馬村総合教育会議 議事録

- 1 日時 令和3年2月18日(木)  
開会 午後 2時00分 閉会 午後 3時45分
- 2 会場 白馬村役場2階 庁議室
- 3 出席者 白馬村長 下川 正剛  
白馬村教育委員会  
教育長 平林 豊  
職務代理 幅下 守  
委員 伊藤 公一  
委員 西澤みどり  
委員 田口 令子

(説明等のために出席した職員)

総務課長 吉田 久夫

(事務局)

生涯学習スポーツ課長 関口 久人  
教育課長 横川 辰彦  
子育て支援課長 下川 浩毅  
教育係長 鈴木 広章  
生涯学習係長 渡邊 宏太

- 4 協議事項 (1) 令和3年度予算編成における重点事項について  
(2) 白馬村図書館等複合施設用地について

5 議事の概要

○開会

教育課長が開会を宣言した。

○あいさつ(下川村長)

皆様、本日はご多忙の中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。  
令和2年度第2回目の総合教育会議を開催させていただきます。非常に足下の悪い  
中ご参集いただきました。改めましてありがとうございます。  
ご存知のとおり、県発表の白馬村の新型コロナウイルス感染警戒レベル5「新型コロ

ナウウイルス特別警報 2」が先週解除され、ようやくレベル1に引き下げられ、その後の感染者数は減少傾向を示しているところです。本日も村長メッセージを発信したところですが、学校・保育園についても感染予防徹底を発信するよう、教育長に命じたところです。一日も早い、終息を願っているところです。

さて、本日は懸案であります、白馬村図書館複合施設について中心に協議したいと存じます。

委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきながら、村と教育委員会が意思疎通をはかることで、一層の効果的な教育行政の推進へとつなげていきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

#### ○協 議 （議長は下川村長）

##### (1) 令和3年度予算編成における重点事項について

- ・各課長が、資料により説明した。
- ・議長が、令和3年度 教育委員会予算についての発言を求めた。
- ・議長 スクールバス運行事業に補助金はないか。
- ・教育課長 補助金はないが、今年度の場合、特別交付税措置で約800万円の収入を見込んでいる。
- ・議長 来年度のスクールバス運行時期についてはどう考えているか。
- ・教育課長 本年度は感染症により、夏期の運行ができなかった。来年度においては梅雨から夏の時期を含めて試験運行を考えている。
- ・教育長職務代理者 小学生へのタブレットはもう全員に配られているのか。
- ・課長 既に配備は終わっている。あとは学校でそれぞれ対応いただきたい。
- ・教育長職務代理者 教諭は現状手一杯で、教育とICTの両方に精通した指導員の配置が必要である。村内雇用ができないときは業者委託してでも雇用して欲しい。
- ・議長 先般、ICT支援員の雇用ができたと聞いている。
- ・教育長 県事業で0.5人の雇用が出来た。これに村費用で0.5人分を雇用し、1人を白馬中学校に配置する。両小学校には1日4時間程度になるが1名の雇用を確保した。
- ・教育長職務代理者 県はICT指導員2名配置しているが、全県で2名の雇用であり村の事を頼むにも限界がある。県にだけ頼る訳にはいかない。是非ICT支援員配置をお願いしたい。
- ・議長 スクールバスには様々な課題があり、要望も多岐に及ぶが、保護者意見を聞きながら、利用者に有益となるように進めてほしい。
- ・教育課長 様々な試行をしながら、その後の村の公共交通に繋がられる試験運行としたい。そのためにも来年度は保護者と話し合いをしながら進めたい。
- ・議長 生涯学習スポーツ課の分野で質問はないでしょうか。図書館の部分はその後、説明します。

- ・西沢委員 体育施設維持管理事業の部分で、各団体にカードキーを渡せば、利用履歴が残るのか。
- ・生涯学習スポーツ課長 利用履歴は残るので、予約時間と利用時間との違いを把握することができる。
- ・議長 子育て支援課の部分で質問をお願いします。
- ・教育長職務代理者 放課後子ども教室の地域の参加は具体的にはどんな事例を予定しているのか。
- ・子育て支援課長 すでに依頼している団体もあるが、地域のボランティア団体や法人等、様々な分野で子どもに関わる活動を月に1回程度実施したい。放課後子ども教室の実施については、南小では希望者が少なかった。北小で実績を積んだのち、南小での事業を始めたい。
- ・議長 小児科オンラインの利用状況はどうか。
- ・子育て支援課長 月に10件前後である。利用者には偏りが生じている。
- ・議長 小児科オンラインは、鳴り物入りで始めた事業である。もう少し利用率を上げたい。産婦人科オンラインはどうか。
- ・子育て支援課長 小児科オンラインと同じ状況である。利用者からは好評を得ている。
- ・議長 白馬の母親の多くは長野市で出産しているようだが、状況はどうか。
- ・子育て支援課長 約9割が長野市で出産している。
- ・議長 利用率が低ければ、事業の見直しを考えなければならない。
- ・西沢委員 子育て支援ルームは、保育園の老朽化問題から、しろま保育園を設置し、3園を1園に統合した。しかし、その後10年以上も（旧中部保育園であった）支援ルームの使用を続けている。屋根の修繕をするということだが、いつまで支援ルームを使う予定なのか。
- ・子育て支援課長 図書館等複合施設建設の状況によるが、複合施設竣工までは現施設を使用したい。現状は雨漏りが酷いので、その修繕は行いたい。大きな修繕はこの屋根修繕で最後にする予定。

## (2) 白馬村図書館等複合施設用地について

- ・生涯学習係長が、会議資料により説明した。
- ・議長が、図書館等複合施設用地についての発言を求めた。
- ・議長 これまで、白馬駅かAコープ最寄りの候補地が良いということで進めてきたが、サウンディングの結果、このような結果となった。
- ・伊藤委員 これまで検討してきた中で、白馬駅に候補地が決まった。しかし、今回の民間への聴取では白馬駅は魅力的でなかった。これはどういう理由からなのか。
- ・生涯学習スポーツ課長 駅は交通の要であり、民間事業者が営業を行うにあたっては、白馬駅への複合施設設置が魅力的であると村は考えていた。しかし、サウンディングの結果からは、村の考えと民間企業の考え方には乖離があった。
- ・伊藤委員 意見の聴取が足りなかったということか。

- ・教育長職務代理者 図書館施設検討委員会の結果報告から、久しく情報が出されることがなく、今回、候補地が変わった。情報の共有を大事に考えてほしい。
- ・生涯学習スポーツ課長 今後は、教育委員会・議会と情報共有、協議した後に、村長に協議結果を示しながら、最終判断をしていただく。
- ・田口委員 今回意見を聴取した民間事業者というのは、どんな会社か。
- ・生涯学習係長 図書館や子育て施設で、自治体と実績のある業者、コンサルティング会社、建築・設計の業者など、それぞれの業種毎に2社ないし3社に参加いただいた。
- ・生涯学習スポーツ課長 会社名は出せないが、全国規模で展開している会社。当初、9千人の村のサウンディングに参加いただける会社は少ないと考えていたが、多くの会社に参加いただいた。村としても、どんな事業組立が出来るのか、どんな発注方法が可能かを知る良い機会としたい。
- ・生涯学習係長 自治体職員は数年で異動する。継続的に施設運営に携わるのは、数名の会計年度任用職員という実情がある。それならば様々なノウハウを持つ事業者任せの方が良いのか。望ましい施設運営をどう構築していくのか、この点も住民に意見をお聞きしていきたい。また、官民連携は運営形態等を決め、施設の設計施工を民間に実施してもらおう形が多い。行政が設計施工をした施設に、運営会社が入ると、使い勝手が悪いというようなデメリットが生じる場合が多い。設計施工を自治体が行うにしても民間アドバイザーが入って意見をいただく方法もある。村民の皆さんの意見を聞きながら、予算もあることなので総合的に判断したい。
- ・西沢委員 複合施設の将来像は明るいと感ずる。しかし、候補地決定のプロセスが良くなかった。ワークショップ等で村民の意見を広く集め、その後に有識者の方々の意見を聞いている。何故、白馬駅が候補地に決定したのか、決定に至る経過がわからないという声を多く聞くので、その辺りは説明してほしい。  
様々な連携方法があるが、作ったら終わりではなく、内容を充実させて欲しい。例えば離乳食の講座、5Gを利用した映画の上映等、長く利用いただける、喜んでもらえる魅力的な施設づくりを目指してほしい。施設を作ったら終わりということではないと思う。
- ・議長 西沢委員から白馬駅に決まった経緯が曖昧、完成後の利用について意見があった。白馬駅候補地決定の話だが、ABCDと4つの候補地があり、教育委員会ではC候補地を推していた。そのような中、国道に面し、鉄道利用者も見込める駅周辺の誘客がしやすいという意見が出された。建設地・駐車場の問題、子育て支援施設が駅に併設でよいか。それらの課題を消化する過程で、駅東側が一番ということを進めた。白馬駅ありきで進んできた訳ではないが、そういった認識を持たれたことは、反省したい。これから説明をする中で理解を求めたい。教育長職務代理者から情報の共有を大事にという意見もあったが、今後しっかりと説明したい。様々な調査の実施にも時間が割かれてしまった。
- ・総務課長 当初は図書館更新から始まった。そこに子育て支援施設の併設の話が加わり、複合施設を新設するのであれば、白馬村の名に恥じないそれなりの施設を

作りたいということで、議論が始まった。候補地は白馬駅周辺という設定の中で選定がされていった。図書館建設基本計画の中でヒアリングしたところ、白馬駅本体に設置という結論になった。他の候補地については私有地であり、場所を公表できなかった。駅ありきの議論を進めた訳でなく、官民連携のメリットである建設費の削減、付加機能を加味しての提案もいただく中で、白馬駅が候補地になったという経緯である。

- ・生涯学習スポーツ課長 村民交流という部分で、白馬駅は魅力的であった。村の判断は、民間の参入意欲が高いのが駅としていた。しかし駅については、駐車場の問題がクリアにならないと難しい。
- ・西沢委員 これまでの議論やワークショップで村民の意見を集約したことは無駄ではなかったが、住民が決めたことを有識者が覆したことに村民が憤っている。最初から有識者を交えての決定プロセスが取れなかったのが残念だ。その部分について説明はすべきで、実際に利用する者の意見を第一に考えてほしい。
- ・生涯学習係長 候補地に関しては見直す結果となったが、検討委員会での議論、ワークショップでの村民の意見集約等、時間がかかったが、これから検討する材料は揃った。
- ・伊藤委員 民間の意見を聞いたら、候補地が変わったことに検証が必要と感じる。
- ・議長 皆さんの貴重な意見を伺った。議会にも本日の総合教育会議の意見は報告したい。いずれにしても駅への施設設置は解決しなければならない問題が多い。これから村民説明をしながら理解を求め、最終的な判断をしたい。
- ・生涯学習スポーツ課長 今後については、様々な機会で情報発信したい。村長からは図書館完成が遅れても、よい施設を作るべきと言われている。
- ・教育長 建設費については、図書機能・子育て機能だけで10億円とあるが、一般財源はいくらまで出せるのか。
- ・議長 今般の感染症対応により、村の財政計画も大きな修正を迫られた。今後は村の基金の積み上げが重要となる。
- ・教育長 基本計画では令和6年に竣工予定である。コロナ禍もあった中で、竣工予定を先延ばしするのも考えなければならない。
- ・議長 財政との相談になるが、今後はクラウドファンディングの実施等を考える必要がある。白馬村への注目度、興味が高い事実は確認されているので、それを利用し、贅沢でなくても村民が集う、安心して子育てができる施設の建設をしたい。
- ・子育て支援課長 複合施設の竣工が先延ばしされる状況になれば、老朽化が進んでいる子育て支援ルームの機能をどう維持するのかを並行して考えなければならない。現在は未満児保育の希望者が非常に多い。現在、待機児童は発生していないが、今後は保育需要が高まる冬期間を中心に待機児童の発生が見込まれる。
- ・教育長 屋外遊具の設置希望は根強い。白馬村には幼児が屋外で遊べる公園が無いと言われる。屋外遊具の設置だけで2,000万円程度は必要になる。
- ・子育て支援課長 屋外に大型遊具を設置しての外遊びは、保護者からずっと要望されている。

- ・生涯学習スポーツ課長 全天候対応や耐久性の観点から大型遊具を室内に置く事例が増えている。
- ・議長 何れにしても、候補地決定の経過について、村民に理解を得られるような説明を担当課にはお願いします。

本日は貴重な意見をいただいた。議会でも駅に複合化施設を設置することには賛否両論があり、大糸線の未来はどうなのか、白馬駅舎の老朽化等、様々な意見があるなかで、担当課で駅への施設設置は困難であるという判断をした。今後村の議会でも本日の会議のような意見をいただくとと思うが、丁寧に説明をしながら理解を深めたい。

○その他

無し

○閉会

- ・教育課長が閉会を宣言した。